

作文の部 優良者賞

いじめの怖さ

東久留米市立第一小学校

六年

最近、「いじめ」という言葉を聞くことが多くなりました。昔は、あまり聞きませんでした。ですが、なぜ、そのような言葉が出てきたのでしょうか。

私は、その理由を考えました。そして、一番に思いついたのが、「いじめが増えたからだ」と思いました。なぜ、いじめが起きるのか、気になって調べました。すると、いじめをする理由は、「見た目」や「体型」、「名前が変」、「障害をもっている」などのことが挙げられました。それを見た時、本当にひどいと思いました。

私は、転校してこの学校に入りました。その転校前、つまり、前にいた学校で、「いじめ」が起きていたんです。いじめられていた子は、毎日、ちよつとした悪口を言われてい

たり、名前で遊ばれていたりしていました。でも、だれもその子を助けられませんでした。理由は簡単です。「あの子を助けたら、次は自分がいじめられるかもしれない」という怖さから、だれもその子を助けられなかったのです。いじめは、いじめている人と、いじめられていている人だけの問題ではなく、周りの人もまきこんでしまうのです。いじめている人のせいで、教室の空気もどんどん悪くなっていきました。でも、ある日、一人の子が、いじめられている子に話しかけました。その後、私や周りの子ども、だんだんその子に話かけることができるようになっていきました。「次は自分がいじめられるかも：」という怖さに勝って、いじめられていた子に話しかけられたその子は、本当にすごいと思いました。私も、いじめられていた子ども、教室の空気も、一人が話しかけた、小さなことで、全てが良くなっていきました。

いじめの原因となる、「自分の気に入らな

いこと「は、だれにでもあると思います。でも、だからといって、人をいじめて、その人を精神的に追いつめたり、自殺に追い込んだりすることは、「絶対にやってはいけないことです。ちよつとした悪口など、言った本人は冗談でも、言われた本人には、一生消えない傷になることもあります。いじめは、絶対にやってはいけない、なくすべきことです。いじめは、残念ながら、今も増えつづけています。でも、そんな時だからこそ、自分が加害者にも、被害者にもならないように、たがいの意見を尊重し合い、相手の気持ちを考える様な意識を持つことを大切にしていきたいのです。